



唐松小だより

平成二十三年十二月号

『自分を大切にすること』

ある方から、こんな話をお聞きしました。「自分を生かすために自分を大切にしている超一流の人は、野球のイチロー選手です。彼の活躍はいつも見ています。スランプは時々ありますが、大きな故障はありません。自分の健康をしっかりと管理しているからだと思っています。そして、何よりも自分の野球道具を大切に扱っているそうです。毎日のプレーには、うまくできずに腹がたつこともあると思いますが、道具に当たったり、粗末に扱ったりしている場面を見たら、それはありません。うまくプレーできなかった仲間には、必ず励ましの声をかけをしていて姿が見て取れます。一流選手は、人や物を大切にしたい、自分も大切にしている人だと思っています。」ということでした。

私たち教師は、子どもが人生の中で一人の人間として輝いていってほしいと願っています。誰もが一流になることはできないと思いますが、子どもが輝こうと意欲を持たせることはできます。

学校という社会の中で、友達とかかわり合い、助け合い、相手のよさに気づかせる活動を、学習や行事の中で行っています。基礎となるのは、子どもの心の健康です。ここで、家庭のあるべき姿が重要となります。子どもにとって一番安心感がある場所が家庭です。保護者の温かい愛情で、子どもは心のエネルギーを充填します。

「学校にこんな『友達と遊ぶ』」「勉強しよう」「エネルギーが満ちた子どもは学校でも意欲的です。自分を大切にしよう」とします。勉強や友達とかかわりでも前向きに取り組めます。自信のある行動ができます。エネルギーが満ちた子どもは、朝から元気がなく、自信や意欲がありません。

唐松小学校の子どもたちは、毎日学校に登校しています。朝から元気にグラウンドを駆け回っています。教室で好きな本を読んでいます。家族の愛情にエネルギーが満ちた子どもたちから、突然、目を離さないでください。子どもたちの変化は突然にやってくる。どこかにその兆候は必ずあります。小さな変化を見逃さない鋭い目を私たちは持つて子ども達に接していきます。毎日の子どもたちのかかわりをよくしてお休みします。



<お知らせ>

平成 23・24 年度唐松小学校学校林運営委員が次のとおり新見市長より委嘱されました。(敬称略、H.23.12.12 付) 伊達圭介・土屋秋広・坪井健一・山本 茂・伴藤吉彦・中村宏之・札幌成樹・平野真実・池田 久・池田光輝 以上 10 名

12 月 19 日(月)に運営委員会を開催し、今後の学校林の在り方について協議しました。地区回覧文書で協議内容を報告します。

ありがとうございました！

9 月に地区役員さんや地区評議員さんのご協力を得て行った「新見市手をつなぐ育成会」賛助会員の募集についてご報告します。募金額は次のとおりとなりました。ご協力、ありがとうございました。

募金額:29,600円

おめでとう！

12 月 5 日から 11 日が人権週間でした。人権週間中の協賛行事として行われている人権啓発ポスターコンクールで 1 年生の「よしぞわまあれ」さんの作品が見事、岡山県知事賞に選ばれました。紹介します。



なお、この作品は岡山・倉敷・津山を走る「人権啓発ラッピングバス」の中に掲示されています。平成 24 年 1 月 31 日まで走っています。



1 月の主な行事予定

- 10 日(火) 給食開始
- 15 日(日) とんど祭り
- 24 日(火) ~ 30 日(月) 給食週間
- 31 日(火) 参観日



唐松学区防犯組合連合会「防犯パトロール」

予定の日 1 月 10 日(火)

唐松学区振興会「安全パトロール」

予定の日 1 月 27 日(金)

お世話になります。ありがとうございます

とんどまつりお知らせ

1 月 15 日(日) 9 時~

第 17 回唐松とんど祭りが、唐松小学校運動場で行われます。お札・しめ飾り等を持ってきたください。例年のように豚汁・甘酒も用意されています。



生活文化伝承講座 12 月 2 日(金)

唐松公民館の主催事業として行われている「注連飾りづくり」に、5・6 年生が参加しました。健生会(平野力雄会長)の 5 名の方々のご協力をいただき、充実した活動となりました。6 年生は 2 年目でもあり、手慣れた手つきでしたが、初めて取り組む 5 年の中には悪戦苦闘している子どもの姿も見られました。一人一人丁寧に作品を仕上げるまで根気よくご指導いただいた、健生会の皆さんのおかげで、立派な「しめ縄」を作ることができました。ありがとうございました。健生会の皆様に丁寧に手ほどきを受け、縄をなう技術を残したいと思えます。



図書集会 (12 月 12 日)

図書委員会が中心となって、読書習慣に対する意識を高めようと計画しました。「読書の傾向」「読書の実態の調査」を発表し、大型絵本の読み聞かせ(下の写真)を行いました。子どもたちは真剣に聞き入っていました。その後低学年 30 冊、高学年 20 冊以上本を借りた人の表彰を行いました。

